

〈歴史に学び地域を訪ねる会〉

10月28日、本年度第6回「記憶と経験を語り継ぐ集い」として、宮崎地区湯沢喜好・政一さん撮影の記録動画の鑑賞会がおこなわれた。本集いは、飯田市歴史研究所の指導を受けて、失われていく地区在住の古老たちの貴重な歴史的証言を記録に残そうと定期的に聞き取り記録化を図ってきたが今回貴重な記録が残されていることが語られ、特別映写会に発展したものである。

当時撮影費用も非常に高価であり、音声も同時に重ねるという特殊技術を駆使する等大変な努力のなかで撮影された映像は、昭和48年当時の8ミリによる中央道築造工事風景とビデオカメラによる昭和59年当時の座光寺小学校移転に伴う旧校舎の解体の様子であり、次々と映し出される昔懐かしの情景をみて、当時の状況を知る参加者は、若い頃にタイムスリップして思い出話に浸り歓声が上がっていた。

このような記録媒体も経年劣化が進み、映像機器自体も失われ、再現が難しくなっていく中で、コンテンツを良好な状態に保存するためには、最新のデジタル媒体で残していくことが大切であり全国的な潮流である。本会では各家庭で埋もれている資料があれば、提供して頂き、デジタル化を図り保存していくことを呼びかけている。